

平成29年度事業報告書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 主要な会議

1 理事会

開催日	議案等	備考
平成29年4月1日	常務理事の選任の件	書面表決
平成29年5月30日	<審議事項> ① 平成28年度事業報告及び決算(案)の件 ② 定時評議員会の開催の件 <報告事項> 平成28年度資金運用の経過の件	
平成29年8月15日	評議員会の開催(書面表決)の件	書面表決
平成29年10月31日	<報告事項> ① 平成29年度事業報告(上半期)の件 ② 平成29年度資金運用の経過の件	
平成30年2月1日	<審議事項> ① 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ② 平成30年度資金運用の執行方針及び計画(案)の件 ③ 財務関係規程の制定の件 ④ 評議員会の開催の件	
平成30年3月31日	① 評議員会の開催(書面表決)の件 ② 事務局長の任免の件	書面表決

2 評議員会

開催日	議案等	備考
平成29年4月1日	理事の選任, 評議員の選任の件	書面表決
平成29年6月14日	<審議事項> ① 平成28年度事業報告及び決算について承認を求める件 ② 監事選任の件 <報告事項> 平成28年度資金運用の経過の件	

開催日	議案等	備考
平成29年8月16日	理事の選任の件	書面表決
平成30年2月9日	<p><審議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 理事の選任の件 ② 評議員の選任の件 <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成30年度事業計画及び収支予算の件 ② 平成30年度資金運用の執行方針及び計画の件 	

II 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー

広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や町内外の方々との交流等を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
まるごと屋久島研修講座(里)			
島内解説（島一周，西部林道，大川の滝等）	平成29年4月22日	26人	
まるごと屋久島研修講座(森)			
屋久島の自然散策（ヤクスギランド解説）	平成29年4月30日	18人	
さえざりトレッキングツアー			
大和杉トレッキング，野鳥観察，エッグクラフト	平成29年5月3日 ～5日	18人	
夏を感じるエコツアー			
安房川いかだ下り，川遊び	平成29年7月15日	14人	
子ども屋久島大冒険！			
前岳トレッキング，安房川イカダ下り，トビウオさばき体験	平成29年8月10日 ～13日	20人	
はじめてのアウトドア島旅			
龍神杉トレッキング，自転車ポイントラリー	平成29年9月23日 ～25日	22人	
秋を感じるエコツアー			
秋の植物観察，レジックラフト	平成29年11月5日	6人	
ワンコインセミナー（島民向け1日型ツアー）			
冬の野鳥とエッグアート体験	平成30年1月14日	15人	
第2回屋久島環境未来ミーティング	平成30年1月21日	55人	
ボタニカルサシェをつくろう！	平成30年1月28日	14人	
大人の塩作り	平成30年2月18日	9人	
とって・見て・楽しむ、川の生き物観察会	平成30年3月21日	荒天中止	
合計		11回実施	217人

イ ふるさとセミナー

町内在住者を対象に、ふるさとの新たな一面を再発見し、その自然環境や文化に対する意識向上等を図るため、屋久島の身近な自然を素材にした体験型研修を行った。

名称		
内容	開催日	参加者数
<p><研修センターオープンデー> 親子で楽しめる科学実験等の実施を行った。</p>		
シロアリ実験, 木工クラフト, スライム作り, ジャンボシャボン玉作り	平成29年6月25日	781人
<p><星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行った。</p>		
・春の星空観察会 (永田小学校)	平成29年4月13日	59人
・秋の星空観察会 (安房小学校)	平成29年9月29日	215人
・冬の星空観察会 (宮浦小学校)	平成30年2月16日	36人
<p><出張研修講座> 町内の児童・生徒に、屋久島の環境学習を行った。</p>		
・屋久島の岳参り講座 (岳南中学校 1～3年生)	平成29年6月23日	95人
・キャリア教育講座 (安房中学校 3年生)	平成29年7月5日	32人
・夏休み自由研究講座 (安房小学校 3～6年生)	平成29年7月13日	129人
・一日遠足の事前指導 (岳南中学校 1～3年生)	平成29年9月20日	89人
・総合的な学習支援指導 (野鳥・昆虫) (永田小学校 3～4年生)	平成29年10月27日	12人
・課題研究支援 (屋久島高校 2年生)	平成30年1月17日	3人
<p><子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図った。</p>		
・テント泊, ナイトハイク, 野外炊飯, ヤクスギランド観察	平成29年6月3日 ～4日	22人
・川の生き物採集・観察	平成29年7月16日	14人
・林業体験 間伐, 種子クラフト, ドローン	平成29年11月19日	19人
・タンカン収穫・デザート作り, 海釣り, 野外炊飯, 未来の夢カルタ作り	平成30年2月24日 ～25日	18人

名称			
内容	開催日	参加者数	
<冒険しよう> 町内小学生を対象に、自然体験型 環境学習の実施を行う。			
段ボールハウス・オープン作り，ＢＢＱ 竹筒炊飯，竹遊具作り	平成29年12月2日 ～3日	20人	
<幼児環境教育推進事業> 町内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施し、幼少時代から環境意識を向上させる。			
<屋久島こども森の遊び場>			
・秋の森deおさんぽの会	平成29年11月12日	41人	
・はじめての親子CAMP	平成29年12月16日 ～17日	27人	
・焚き火deほっこりごはんの会	平成30年1月20日	49人	
・冬の森de焼き芋の会	平成30年2月3日	44人	
・親子deチャレンジキャンプ	平成30年3月3日 ～4日	27人	
合計		20回実施	1,732人

ウ 自然に親しむ集い

町内在住者を対象に、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、環境省・屋久島町と共催で、自然観察活動や自然体験活動を行った。

名称			
内容	開催日	参加者数	
第1回自然に親しむ集い			
水生生物観察会	平成29年7月30日	14人	
第2回自然に親しむ集い			
アサギマダラマーキング会	平成29年11月23日	14人	
第3回自然に親しむ集い			
西部林道ヤクタネゴヨウ自生地見学会	平成29年12月11日	27人	
合計		3回実施	55人

エ インターンシップ

インストラクターに必要な資質や技能を高めるため、平成29年8月10日から8月23日まで、屋久島環境文化研修センターで、宇都宮大学の学生1名に職場体験をさせた。

② 受入事業

人と自然との関わりを理解し、環境保全への意識を高めるため、財団が作成した研修プログラムを活用する宿泊研修、一日研修及び短時間研修を行った。

また、鹿児島大学教育センターとの教育協定に基づき、同大共通教育課程で実施する集中講座「屋久島の環境文化」の講義において、環境文化に対する学生の理解を深めるため、屋久島をフィールドとする支援活動を行った。

区分	団体数	参加者数
宿泊研修	60団体	3,583人
一日研修	36団体	1,069人
短時間研修	13団体	343人
合計	109団体	4,995人

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

屋久島高等学校環境コースの生徒を対象に、屋久島・口永良部島の自然、歴史、文化について理解を深めてもらうため、宿泊型の環境学習に関する研修に対し、支援を行った。

名称			
	内容	開催日	参加者数
夏季研修			
	屋久島地質巡検	平成29年7月11日 ～12日	7人
口永良部研修			
	ボランティアキャンプ	平成29年8月2日 ～3日	荒天中止
秋季研修			
	屋久島の植物相	平成29年10月17日 ～18日	7人
冬季研修			
	民俗文化・環境への取り組み	平成30年1月24日 ～25日	7人
合計		3回実施	21人

④ 屋久島研究講座

町内在住者を対象に、屋久島の自然や文化に関する理解の促進・普及を図り、その未来を担っていく人材を育成するため、屋久島をフィールドとして調査・研究している研究者や専門家を講師とする講座を開講した。

演題			
講師	開催日	開催場所	参加者数
300年の眠りを超えて「シドッティ神父、その生涯と屋久島」			
作家 古居智子	平成29年11月24日	屋久島環境文化村センター	45人
南九州縄文文化と横峯遺跡・竪穴住居			
南九州縄文研究会 代表 新東晃一	平成29年11月26日	屋久島環境文化研修センター 横峯遺跡	39人
ヤクシカ・ヤクタネゴヨウについて			
屋久島学ソサエティ	平成29年12月9日 ～10日	屋久島離島開発総合センター	220人
屋久島における津波痕の発見について			
屋久島地学同好会 中川正二郎	平成29年12月	屋久島環境文化村センター	80人

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部荒廃を防ぐため、平成29年5月4日、8月11日の2回、登山者へのマナー指導やマナーガイドブック等の作成及び配布を行い、「屋久島山岳部環境保全協力金」の周知・広報を行った。

また、関係機関と連携して、平成29年7月10日に荒川登山道の安全点検を実施した。

イ エコツーリズム支援事業

屋久島におけるエコツーリズムの取り組みを推進するため、屋久島町エコツーリズム推進協議会へ参加し、支援を行った。

また、新たに自然体験活動指導者（NEAL）養成団体として認定され、町内外のガイド等に対して、NEALリーダー養成研修を行った。

区分	開催日	参加者数
救急救命講習	平成30年1月10日～12日	9人
ガイドセミナー	平成30年2月12日～13日	15人
自然体験指導者養成（初級）	平成29年6月17日～18日	29人
自然体験指導者養成（上級）	平成29年12月18日～21日	13人

ウ 生物多様性保全研究活動奨励事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる団体に対する支援や、屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

団体等名	調査研究等内容
佐賀大学農学部 辻田有紀	シカに食い尽くされる前に照葉樹林ランを守れ
広島大学大学院 生物圏科学研究科水圏資源生物学研究室 坂上 嶺	くちえらぶの魚類図鑑
大阪市立自然史博物館 長谷川匡弘	屋久島高地における開花植物－訪花昆虫ネットワークの解明
京都大学大学院 農学研究科 地球環境科学専攻森林生態学分野 向井真那	屋久島森林生態系を規定する火山灰の影響調査
子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組 山口英昌	「ボランティア体験・学習キャンプ」実施により口永良部島の生物多様性を調査し保全し啓発する

エ うみがめ保護対策事業

うみがめの産卵・孵化場所である海浜の環境を保全するため、遮光林の維持管理や海浜の清掃活動を行った。

- うみがめ保護遮光林維持管理

委託先	委託期間	実施場所
NPO法人屋久島うみがめ館	平成29年4月28日 ～ 平成30年1月31日	永田浜（いなか浜） 一湊（一ツ浜，二ツ浜）

- 海浜の清掃活動

主催団体	実施日	実施場所
NPO法人屋久島うみがめ館	平成29年6月3日	永田（いなか浜）

- マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、屋久島の主要な海岸において、地元住民及びボランティア等と連携して美化作業を行い、優れた海岸景観の保持及びうみがめ繁殖環境の保全を行った。

実施団体	実施日	実施場所
栗生区	(第1回) 平成29年8月20日 (第2回) 平成30年1月27日	塚崎海岸・大川海岸
永久保区	(第1回) 平成29年7月23日 (第2回) 平成30年1月21日	田代海岸
永田区	(第1回) 平成29年8月6日 (第2回) 平成30年1月14日	永田浜

② 屋久島動植物調査等事業

自然保護の普及活動を推進するため、環境学習や自然観察の資料として活用されている、財団発行のガイドブック「屋久島のコケガイド」の改訂作業を行った。また、「屋久島の野鳥ガイド」の改訂準備及び新しいガイドブック作成のための調査・研究を行った。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化を図るため、環境文化ボランティアの登録、ボランティア団体の支援、ボランティア活動に関する情報発信を行った。

・ 環境文化ボランティアの活動（登録者数39名 平成30年3月末現在）

実施日	内容	参加者数
平成29年5月6日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	4人
平成29年5月28日	縄文杉発見50周年記念シンポジウム	5人
	大型客船（にっぽん丸）見送り	4人
平成29年6月3日	世界環境デー in いなか浜	8人
	大型客船（ロストラル）見送り	4人
平成29年6月25日	研修センターオープンデー	5人
平成29年5月6日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	2人
平成29年7月23日	村せん祭り	5人
平成29年8月10日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	2人
平成29年9月9日	白谷雲水峡内木道の苔落とし(株伊藤園と共同)	5人
平成29年10月14日	ヤクスギランド清掃 (レク森協議会・アサヒビールと共同)	5人
平成29年11月4日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	7人
平成30年2月10日	全国エコツーリズム大会 in 屋久島	4人
平成30年3月12日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	5人
平成30年3月17日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	3人
平成30年3月30日	大型客船（ぱしふいっくびいなす）見送り	4人

・ 企業ボランティアの活動

企業名	実施日	内容	参加者数
株式会社伊藤園	平成29年9月9日	白谷雲水峡内木道の苔落とし	18人
	平成29年9月10日	春田浜海岸清掃	9人
アサヒビール株式会社	平成29年10月14日	ヤクスギランド清掃	70人

※ 参加者数は財団ボランティア等を含む。

- ・ ボランティア団体への支援

団体等名
活動内容
屋久島パークボランティアの会
国立公園内の美化清掃・動植物の保護等 ※ 平成29年7月15日に口永良部島で初めての海岸清掃を実施

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、町内外の事業所などへ勧誘活動を行った。また、ファンクラブ会員等に向けた財団イベント情報等の発信を行った。

屋久島ファンクラブ会員数	849人
うち平成29年度新規加入者	121人

③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 8ページ)の発行(3,000部/号)

全国の屋久島ファンクラブ会員及び関係機関に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	主な内容
第66号	平成29年7月	縄文杉発見50周年記念企画の目指すもの
第67号	平成29年11月	シカに食い尽くされる前に照葉樹林のランを守れ
第68号	平成30年3月	津波痕跡の発見

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部/月)

毎月1回町内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークの形成

町内在住者や来島した研究者等へ情報提供を行うとともに、研究者や専門家による調査・研究内容を町民に紹介する場(屋久島研究講座等)を設け、地元への還元を図った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

ア 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 協議会事務局の運営と里のエコツアーを実施した。
- ・ 新たな地域を開拓すべく、梶川集落の可能性調査を実施するとともに、集落の代表者と意見交換会を実施した。
- ・ 里めぐりを広く知っていただくため、1分のコマーシャル動画を作成し、鹿児島本港南埠頭で放映を開始した。
- ・ 世界自然遺産登録候補地である奄美地域のまち歩き団体等との情報交換を実施した。

また、交流連携を強化するため、平成30年3月8日に、奄美・屋久島まち歩き連

絡協議会を発足させた。

- ・ 里めぐり集落の語り部が南九州市颯娃町で研修し、スキルアップを図った。

(参考) 屋久島里めぐり推進協議会

- ・ 会員
屋久島町，財団，集落（永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間）
- ・ 目的
屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・ 屋久島里めぐり参加者数（受入回数）

集落名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
吉 田	99人（19回）	84人（19回）	165人（24回）
宮之浦	200人（45回）	185人（44回）	216人（45回）
春 牧	194人（38回）	115人（25回）	93人（27回）
平 内	11人（1回）	16人（5回）	40人（11回）
中 間	35人（9回）	72人（17回）	17人（9回）
永 田	67人（17回）	92人（25回）	114人（23回）
一 湊	71人（9回）	60人（15回）	142人（24回）
合計	677人（138回）	624人（150回）	787人（163回）

イ のんびりゆったり里のエコツアー

広く全国から参加者を募り，自然環境に負荷を与えない口永良部島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを実施した。

開催日 平成29年7月16日～17日

参加者数 14人

② 屋久島の里の地域振興推進事業

ア 屋久島の里の発掘・記録事業

屋久島の自然・文化・歴史などの地域資源や伝統文化を次世代に引き継ぎ，持続的に活用して地域の活性化に繋げるため，各集落の地域資源を「自然」「伝統行事」「民俗芸能」「名所・旧跡」「くらし」「産業」及び「事業」の7項目に分けて，発掘・記録化を行った。

実施集落 志戸子，船行，尾之間，湯泊，栗生

イ 屋久島の里の説明看板設置事業

里地を中心とした着地型観光の確立と屋久島の里の魅力を発信するため，屋久島各集落の名所・旧跡等に説明看板設置を行った。

実施集落 志戸子，尾之間，湯泊，栗生，本村 各2基

船行，永田，吉田，一湊，宮之浦，春牧，平内，中間 各1基

③ 地域づくり支援事業

伝統文化の継承と環境文化意識の高揚を図り、集落の伝統文化行事等を発掘し、地域資源を保全するため、各集落に伝わる伝統芸能保存会や優れた芸術活動を行っている団体等へ支援を行った。

また、環境保全・環境教育に関わる子どもたちの育成や地域づくりを促進するため、各種イベントや行事、地域の子どもたちへのスポーツ活動等に支援を行った。

団体等名	
活動内容	
屋久島エコツーリズム推進協議会会長 荒木耕治	
エコツーリズム全国大会の屋久島開催（平成30年2月10日～12日）	
NPO法人屋久島エコフェスタ代表 古居智子	
屋久島町有形文化財「楠川区有文書」を広く人々に紹介するための正確な目録作成	
屋久島選抜チーム後援会会長 荒木耕治	
全国離島交流中学生野球大会屋久島選抜チーム支援（平成29年8月21日～25日 石垣島）	

④ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

屋久島の里めぐりにおいて、屋久島の食文化を伝えるために行っている食事の提供において、必要な備品等の支援を行った。

団体名	目的
永田あもう会	備品の購入

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（23年度～，7回目）

屋久島町が「縄文杉」とニュージーランドの「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機とした町内中学・高校生の派遣事業に際し、渡航に必要な経費の一部の支援を行った。

渡航期間 平成29年7月26日～8月14日

参加者数 中学生3人 高校生2人

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，6回目）

町内在住者と外国人の異文化交流を図るため、鹿児島大学の留学生を町内家庭で受入れ、屋久島の文化や暮らしの体験、町内在住者と交流活動等を行った。

受入期間 平成29年8月29日～31日

参加者数 15人（男3人 女12人）

受入世帯 7世帯

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾（指定管理者）し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。また、両施設の利用者増を図るため、各種利用促進施策を実施した。

① 村センター管理運営

入館者

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年度比
入館者数	75,026人	84,121人	93,054人	110.6%
うち有料観覧者数	22,650人	22,294人	24,262人	108.8%

貸出施設

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	46回	55日	44回	49日	65回	77日
交流ホール	7回	179日	3回	44日	4回	99日
大型映像ホール	3回	3日	4回	4日	3回	3日

ア 施設利用促進施策

- ・ 鹿児島港南埠頭や高速船ターミナル、宮之浦港、安房港、町内宿泊施設等にポスターを配付、掲示した。
- ・ 町内宿泊施設等への屋久島環境文化村センター案内リーフレットの配付、宿泊者への割引制度の実施や定期的に宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場で到着時に誘客活動を行った。
- ・ 県外の企業（エージェント・ホテル・観光案内所等）を訪問し、誘客及びパンフレット設置による啓発を図った。

イ 開館21周年記念イベント

開催日	内容	参加者数
平成29年7月23日	島民感謝デー (施設の無料観覧・・・平成29年7月21日～31日)	111人
	映画会「アングリーバード」(2回上映)	249人
	工作(灯籠, 自然, うちわ)・撮影会・灯籠展 かき氷無料配布	190人
	超小型EV「コムス」体験試乗会	22人

ウ 交流ホール展示

開催日	内容	備考
平成29年3月25日 ～5月31日	まるりんの“相棒”展	特別企画展
平成29年6月1日 ～30日	菅楯彦展	
平成29年7月1日 ～23日	屋久島の里を知ろう「吉田集落」展	特別企画展
平成29年7月24日 ～8月31日	屋久島和紙と絵手紙展	
平成29年9月1日 ～30日	屋久島の里を知ろう「春牧集落」展	特別企画展
平成29年11月1日 ～12月10日	よみがえる江戸の宣教師《シドッチ神父の遺骨の発見と復願》	特別企画展
平成29年12月11日 ～ 平成30年2月28日	屋久島の里を知ろう「宮之浦集落」展	特別企画展
平成30年3月1日 ～3月31日	屋久島の里を知ろう「中間集落」展	特別企画展

エ 映画上映会

地元財団賛助企業「屋久島電工株式会社」からの費用助成により、映画上映会を実施し、地元住民福祉向上とともに、利用促進を図った。

開催日	映画名	来場者数
平成29年6月24日	ペット	①230人
平成29年9月23日	S I N G	①221人 ②230人
平成29年12月16日	ペンギンズ ザ ムービー	①230人

② 研修センター管理運営
利用者

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	対前年度比
利用者数	7,349人	7,009人	8,055人	114.9%

貸出施設

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数	利用回数	延べ日数
レクチャー室	0回	0日	4回	4日	10回	10日
視聴覚室	3回	3日	2回	2日	8回	8日

ア 施設利用促進広報

- ・ 兵庫県，京都府，大阪府のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）や環境科設置校等を訪問し，研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用促進を図った。
- ・ 冬季対策として町内の未就学児の親子を対象とした一日研修・宿泊研修や町民向けの一日型セミナーなどを行った。

③ 財団ホームページ管理運用と情報発信

財団ホームページの適正な管理運用を行うとともに，フェイスブックを活用して日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

④ 教育機関との連携

教職員及び生徒の地域貢献等体験研修を積極的に受け入れ，財団を知ってもらうとともに，郷土の良さや環境等へ視野を広げる取り組みを実施した。

中央中学校 教諭 1名 宮浦小学校 教諭 1名

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、屋久島環境文化財団オリジナルグッズ（てぬぐい、携帯ストラップ、ボールペン、屋久島WAONカード、クオカード等のほか、新商品としてマスキングテープを追加）や屋久島関連書籍等の販売を行った。

また、里めぐりの啓発も兼ねて、里に特化した新商品のポストカードを制作し、販売を開始した。

【法人会計】

管理費

本部管理費

① 本部管理費

ア 理事会・評議員会

理事会、評議員会を開催し、財団の諸課題等について協議した。

イ 管理運営

財団の効率的な管理運営に努めるとともに、出郷者会（中部屋久島会：平成29年4月23日）で財団活動報告、屋久島町内並びに鹿児島市、福岡市及び名古屋市で企業訪問を行い、財団の業務概要の説明と賛助企業への加入依頼を行った。

② 職員スキルアップ事業

研修課インストラクターをインタープリターズキャンプ、各種セミナー、講習会等に派遣し、インストラクターのスキルアップを図った。